

令和5年度 第3回四街道市障害者自立支援協議会会議録

開催日時 令和6年1月25日(木) 10時00分～11時00分
開催場所 四街道市保健センター 3階大会議室
出席者 委員 鶴岡会長 清水副会長 穴澤委員 石山委員
小川委員 金室委員 金子委員 佐野委員 中村委員 中山潤一委員
西山委員 野口委員 畑山委員
欠席者 委員 浅野委員 大川委員 木内委員 久保田委員 中山美香委員
西村委員 橋本委員
事務局出席者 末永福祉サービス部長 渡辺副参事 坂本障害者支援課長
志村課長補佐 児童デイサービスセンターくれよん岩井所長
杉本係長 田中係長 宮内係長 石田主事 鈴木主事
四街道市障害者相談支援事業所ひだまり 2名
事業者出席者 株式会社アニスピホールディングス 3名

傍聴人 2名

———会議次第———

- 1 開会
- 2 議題
 - (1) 日中サービス支援型共同生活援助(グループホーム)開設事業者説明について
 - (2) 第7期障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画(案)について
- 3 その他
- 4 閉会

———会議概要———

- 1 開催
- 2 議題
 - (1) 日中サービス支援型共同生活援助(グループホーム)開設事業者説明について

事務局：本日は、日中サービス支援型共同生活援助について概要等のご説明に株式会社アニスピホールディングスよりご担当者様にご出席いただいている。事業者より説明をお願いします。

事業者：資料1に基づき説明

会 長：ただ今の説明に対し、意見はあるか。

穴澤委員：日中支援型ということで日中もグループホームにいるということだが、利用者全員が同じ作業を行うのか。

また、外部サービスを利用するのか。グループホームのみで対応するのか。

事業者：日中支援型のグループホームでは、基本的に外部サービスの利用が難しいのではないかという前提で入居する方が多いが、グループホームの中にいるだけだと、本人の QOL や ADL が下がってしまう可能性があるため、積極的に外部の障害福祉サービスの利用を促進している。

弊社は介護包括型のグループホームも運営しているため、例えば、日中支援型のグループホームを使っていて、生活の中で出来ることが増え、区分が下がり外部サービスを頻繁に使うことができる状況になれば、包括型のグループホームへ引っ越しということもできる。そのため、グループホームのみで対応するのではなく、外部とのつながりや外部サービスの利用も積極的に行っていこうと考えている。

金子委員：状況次第では、人材が4月以降になる予定といていたが、どのような人材を求めているのか。

事業者：弊社は障害福祉サービスのみをやっており、もともと高齢介護の経験が長いスタッフが、サービス管理者の資格がとれるようになり、障害福祉サービスにキャリアチェンジしたいと来るケースが多いが、それだと成しえないということを生活部会でやりとりさせていただいた。

障害者や障害の特性をしっかり勉強してきただけでなく、実践者としてどのようなキャリアを積んできたかというのが、大事な視点の一つではないかと思う。

そもそも、人を見る目線というのは、障害者や高齢者で分けるものではないと理解しているが、モニタリングの取り方等で障害者一人一人のことをどのように見ているかの視点は、違う目線があるのではないかとすることがあり、その入り口を間違ってしまうと、どんなに頑張っても、本質的な障害者のとらえ方を見誤っているという可能性があって、うまくいかないケースがあるのは理解している。

育成・研修・管理体制がほかと比べてどうかはわからないが、弊社の中として体制を整えていると思っているため、育成するとともにきちんと障害福祉サービスの特性を理解しているスタッフを配置したい。

金室委員：ニーズに対しての把握はしていると思うが、一番重要なことは、質に対してどのように考えていくかということだと思っている。日中支援型グループホームは自分のところにも当てはまると思うが、質をどのように高めていくのかの考えをお聞きしたい。

事業者：人材育成の話でもあったが、キャリア資格があればよいというものではなく、実践事例をどれだけ積み上げていけるかが大事だと思っている。
弊社では、複数の拠点があるため、ZOOMのようなツールで朝、晩に事例報告をする機会も設けている。事例を積み重ねて、事業所、事業者としてどのように仕組みを作っていくのかを考え、継続的に取り組みたい。

畑山委員：市内にグループホーム事業が多くあり、利用者の保護者からどのようなものと質問されることもある。
四街道市にグループホームが増えるのは助かるが、ペットの飼育方法では保護活動がメインとなるということで、ペットを保護しながら利用者と共生していくことになるのか。その場合、今後利用者を選ぶときに、犬、猫が苦手な方や、アレルギーがある方は受け入れを断る等するのか。

事業者：弊社が最初の事業として行ったケアペット事業（ペットシッター業）の名残や、弊社の中にある動物部が保護団体と関わりがあるため、そこから引き取りの相談があり、グループホームでも受け入れの希望があった場合に対応する。
障害者のためのグループホームのため、必ずしも飼う前提ではない。実際に現在運営している弊社のグループホームの半分はペットを飼っているが、半分は飼っていない。まずは利用者を第一に考えてニーズや相談に応じて対応したい。

清水委員：説明会を実施したと聞いたが、周知方法をお聞きしたい。また、地域の方への説明はどのように行ったのか。場所、参加人数、参加者の意見、回数をお聞きしたい。

事業者：挨拶周りの際に、ご意見をいただいたことが発端で説明会を開催することとなった。どの範囲のどなたにどのように周知するかを、町内会長の指示のもと周知させていただいた。
1回目の説明会では、半径何メートルの地域にポスティングし、集会場を借りて実施し、30名弱の参加者となった。その際に、もっと広い範囲でしたほうが良いとご指摘いただいたため、2回目の説明会では、回覧板で2つの町内会に周知し、四街道市文化センターで説明会を行った。どちらも2時間程度の説明会とな

った。

質問や意見としては、「なぜここに開設することになったのか」「どのような障害をもった人なのか」「犬や猫を飼うのか」「どのように生活するのか。外出したりなどはあるのか」等があった。

回答として、「八千代で実績があり、四街道、佐倉等周辺地域からのニーズがあったため開設に至った。ペットについて無理をして飼うつもりはなく、利用者を優先したい」等の対応をし、一定のご理解はいただけていると思うが、引き続き継続することが必要だと思われる。

(2) 第7期障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画(案)について

事務局：資料2に基づき説明

会長：ただ今の説明に対し、意見はあるか。

一 同：(意見なし)

3 その他

事務局：次回の自立支援協議会の開催については、現段階で未定だが、例年通りならば、5月中旬ごろの開催を見込んでいる。正式な通知は、1カ月程度前に送付する。

4 閉会